

## 「延世大学校スプリングスクール参加報告書」

京都大学法学部2年 今村 仁美

今回は去年に引き続き2回目の延世大学語学堂でのスプリングスクールとなりました。去年と同様目標は韓国語の語学力上達でしたが、今年は2回目ということもあり現地での交流をさらに大切にしたいという思いも強くありました。

最初の語学力テストでは目標であった3級には届かず2級のクラスに編入しましたが、テキストだけの日本での学習と異なり、発音や対話、文法の応用練習もあるため自分に合ったレベルで勉強することができました。語学堂のクラスメイトとは英語または韓国語での会話でしたがお互いネイティブではない分、正確な発音を意識しながら会話することができました。

渡航前から準備していたプレゼンテーションでは日本の食、中でもアイデアに溢れた現代の流行りを知ってもらいたいと思い臨みました。つたない韓国語ながらもペアの韓国の学生に「面白かった、食べ物に関してあんなアイデアが出るなんて驚いた」と言ってもらうことができ、日本文化を発信すること、それについて他の国の人と意見を交換することの楽しさと重要さがわかりました。自分にとっても日本の文化について改めて調べることで新しい知識を得る良い機会でした。

また延世大学の学生側からのプレゼンテーション、最後のディスカッションはもちろん、あちらの学生が企画してくれた食事会などでも改めて英語の重要性を痛感しました。同回生や先輩に英語で難なくコミュニケーションを取れる方もいる中、「戦後」という重要でそして日韓関係にも関わる話題について韓国語と英語どちらも不十分な実力で自分の考えを正確に伝えるのはとても難しいことでした。しかしお互い翻訳機や辞書を用いながらの対話は距離を縮めるきっかけにもなりました。

テコンドー、料理などの文化体験は授業とは違い体を動かしながら韓国文化に触れることができとても面白かったです。普段外食でしか食べることのない韓国料理ですが作ってみると基本は日本と変わらず、より身近に感じるようになりました。

博物館や景福宮見学も去年に続き2回目でしたが、去年ゆっくり見ることができなかった展示物を重点的に、日本の古代の暮らしぶりと比較しながら見て回ることができました。

1年前の留学に比べ、韓国人との会話を増やすという目標は達成することができました。旅行でも何度か韓国に来ましたが、3週間という長い期間、語学堂で毎日韓国語と密接に関わりながら、また韓国の学生と交流しながら生活する機会を持てたことは自分の勉学への意識を変え、今後の課題を見つける契機となりました。

帰国後も韓国語の勉強はもちろんですが、この3週間で見て感じたことを忘れず大学生活に生かして行こうと思います。

한국어의 실력이 아직 서툴러서 말 하고 싶은 것을 잘 못 전했다던 때도 있었습니지만 선생님이 재미있게 가르쳐주셔서 더 어학당에서 공부하고 싶습니다. 3 주일 동안 정말 감사합니다.